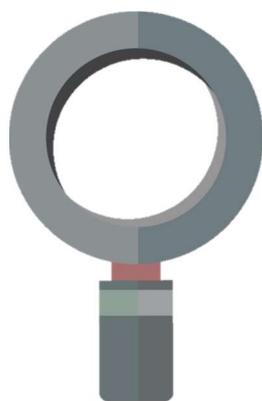
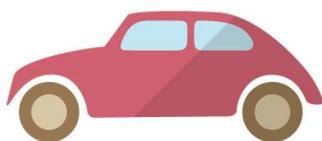




調べる学習ハンドブック



小学校 高学年用



名前： _____

Izumisano Public Library

泉佐野市立図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

調べる学習ってなに？

「調べる学習」って何だろう？？

「調べる学習」とは自分が知りたいことや、
疑問まに思ったことを調べて答えを出す学習のことだよ。

調べるためには、図書館の本を使ったり、

詳しい人くわに聞いたり、

色々な方法があるよ。

このハンドブックで調べる学習を学んで

自分の知りたいことの答えをみつけてみよう！

／ルウです！／



／リィです！／

わたしたちはいずみさの泉佐野市の市の鳥

『ルリビタキ』です。

みんなの調べる学習のお手伝いをするよ。

いっしょに楽しく勉強しよう！

目次

(1)大きなテーマを決めよう	…p.3
ドーナツチャートを作ろう	…p.5
(2)「きっかけ」と「予想」	…p.7
(3) ^{じょうほう} 情報を集めてみよう	…p.8
^{さんこうぶんけん} 「参考文献」ってなんだろう	…p.14
^{ちよさくけん} 「著作権」に気をつけよう	…p.14
(4)記録カードを整理しよう	…p.15
(5)調べたことをまとめよう	…p.16
^{ぼんがいへん} 番外編:百科事典の使い方	…p.22
記録カード	…p.25
^{さんこうぶんけん} 参考文献	…p.26

1. 大きなテーマを決めよう

調べる学習のテーマはどんなものでも大丈夫。^{だいじょうぶ}

自分の好きなものや、^{きょうみ}興味のあるものから
選んでみよう！



何を調べるか^{まよ}迷うときは、

自分の身のまわりから^{さが}探してみるのもオススメだよ！

例えば、

スポーツ、音楽、テレビのニュース
で気になったことはないかな？

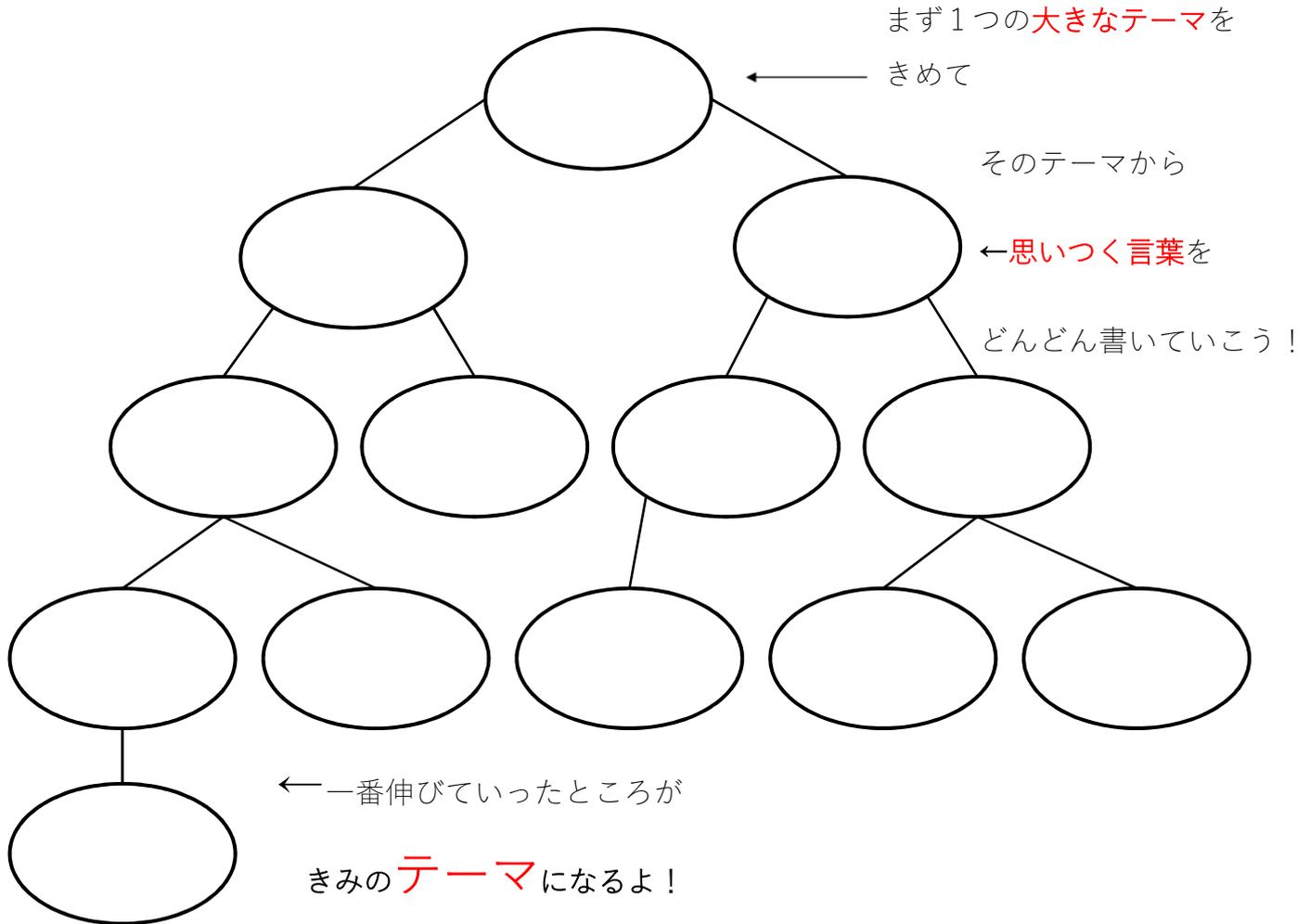


ここが一番大事なところだよ！

時間をかけてじっくり考えよう！



じっさい
実際に書いてみよう！



何も思いつかない・・・
そんなときは・・・

💡 百科事典を引いてみよう！

百科事典の使い方→p.22

💡 図書館の“調べる学習コーナー”を使ってみよう！

きみのテーマは

『

』



ドーナツチャートを作ろう



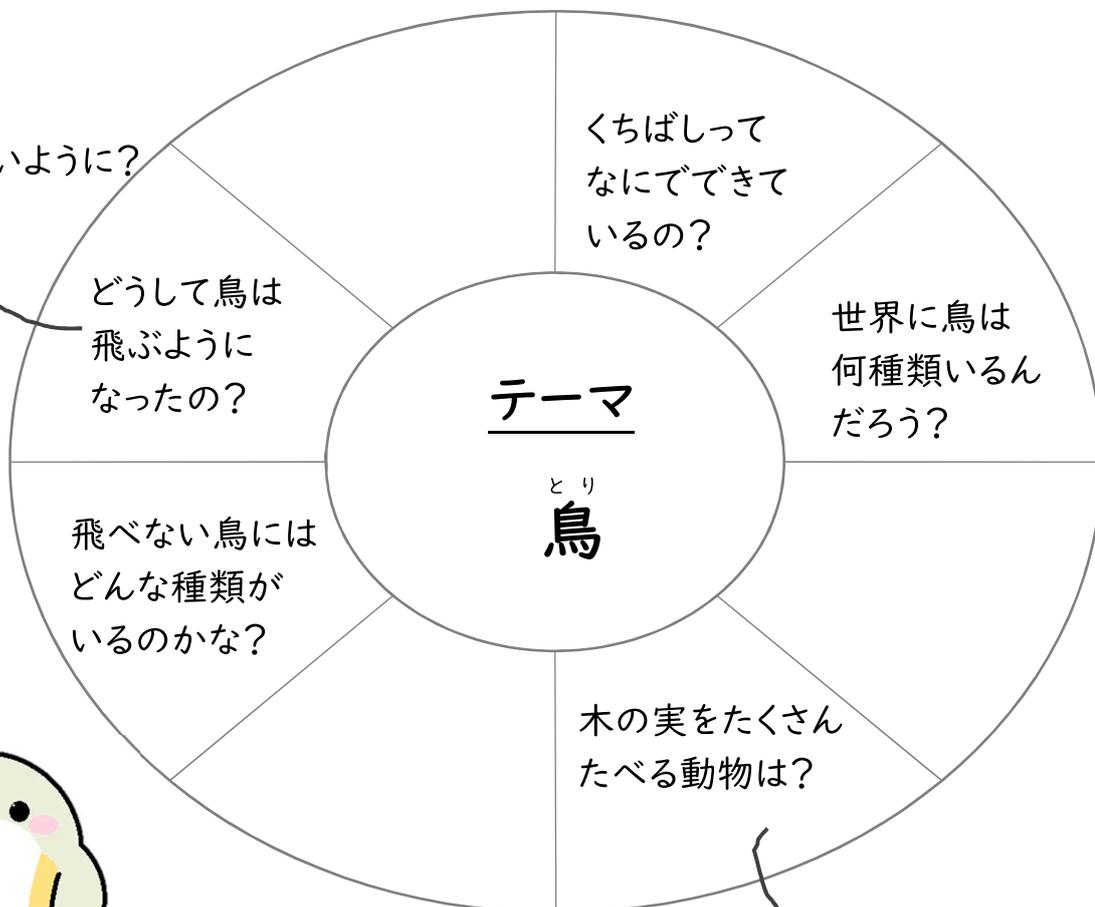
ドーナツチャートを作ることで調べる目的をはっきりさせることができるよ。

—ドーナツチャートの作り方—

- (1) テーマをドーナツチャートの真ん中に書く
- (2) そのまわりに^ぎ疑問に思う事や、知りたいことを書く
- (3) ^{わく}枠の外に答えを予想して書く

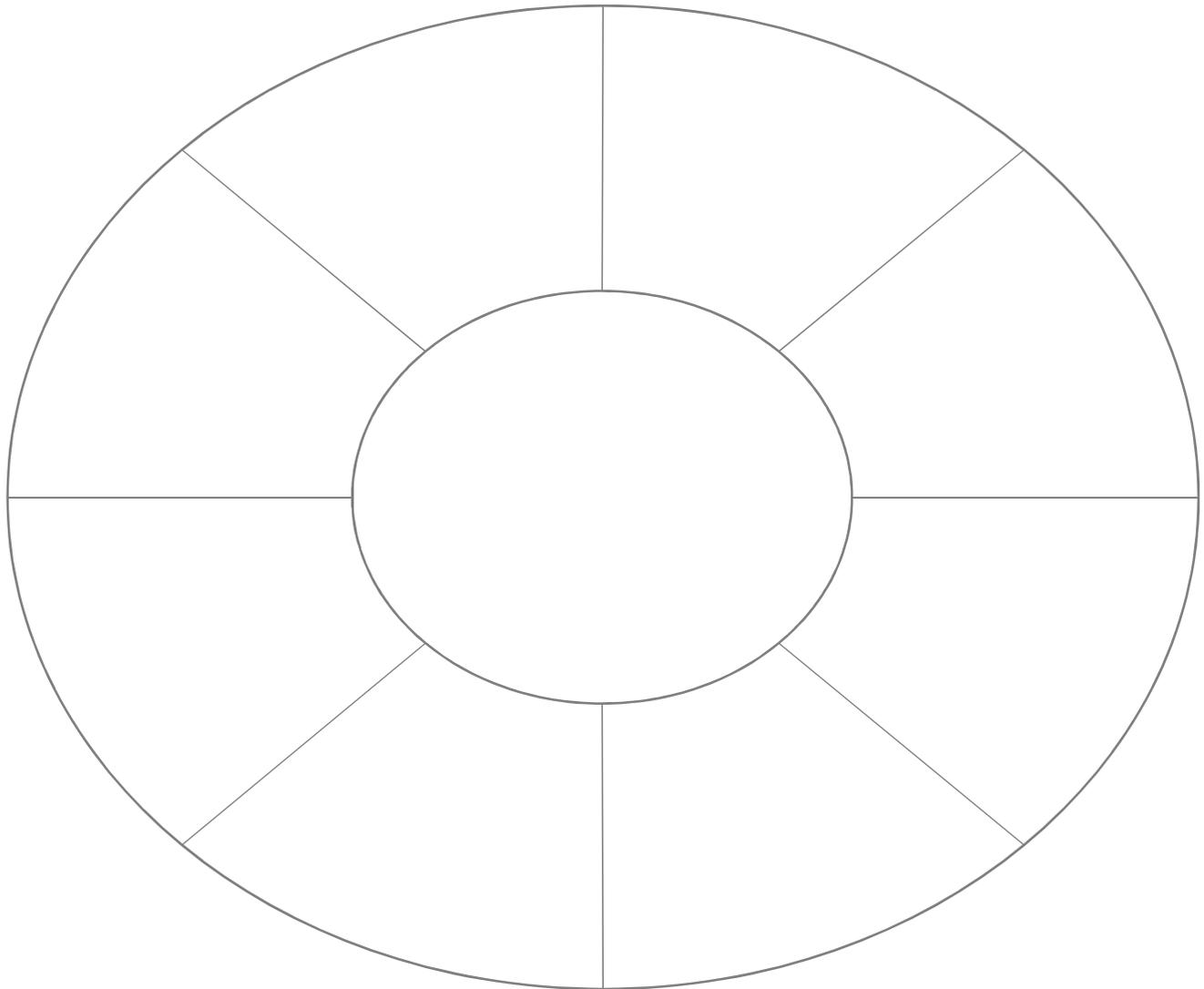
【例】

えさをとりやすいように?



リス?

じっさい
実際に書いてみよう！



どうしてかな？と考えてみよう！
「いつ？」「だれが？」「どうやって？」
と考えてみるといいよ！

全部うまらなくてもだいじょうぶ大丈夫！

2. 「きっかけ」と「予想」

〈きっかけ〉

調べようと思った「きっかけ」を書こう。

どうして調べたいと思ったのか、わかりやすい言葉で伝えよう！

〈予想〉

次に疑問に思うことに対して、予想を立ててみよう。

調べることについて自分なりの答えを予測^{よそく}することでどんなふうに調べるか計画を立てやすくなるよ！

【例】テーマは『木の実』にしたよ。調べようと思った「きっかけ」は、ぼくは木の実が大好きだから！鳥以外にも木の実をたくさん食べる動物がいるか気になったからだよ。

「予想」は「リス」だと思う！本当はどうなんだろう？



3. 情報じょうほうを集めよう

自分が調べるテーマについて情報じょうほうを集めよう。
情報じょうほうの集め方にはいろいろな方法があるよ。

—情報じょうほうを集める方法—

- ① 図書館さで探さがす
- ② インターネットさで探さがす
- ③ 博物館や動物園さで探さがす

集めた情報じょうほうは「記録カード」(p.25)に
書き出そう！

① 図書館で探す

▶ 図書館の本は「分類」というルールで分けられていて、
探しやすいくなっているよ。図書館のたなには同じ
仲間の本が並んでいるので、となりの本もみてみよう。
「分類」について詳しくは次のページで紹介するよ。

▶ わからないときは本を調べるための本を使ってみよう！
図書館には意味を調べる辞書や図鑑など、
調べものに役立つ本がたくさんあるよ。

▶ 図書館のスタッフに聞いてみよう！
本を探すお手伝いをするのも
図書館スタッフのお仕事だよ。

図書館で本が探せたら、本を開いて
調べたいことを探していこう！
調べたことは記録カードに書いてね。
本は1冊だけじゃなくて、

必ず 3冊以上 使おう！

このワッペンが目印！



情報がまちがっていたり、
意見がかたよっていることが
あるので、調べるときは
3冊以上使うんですよ！



分類

分類というのは『仲間分け』のことだよ。

図書館では本を^{さが}探しやすいように、同じ仲間を集めているよ。

0	調べる	百科事典・ ^{ざつがく} 雑学
1	こころ	考え方・ ^{しゅうきょう} 宗教・ ^{うらな} 占い
2	^{れきし} 歴史・地理	^{れきし} 歴史・伝記・地理
3	社会	仕事・ ^{せいじ} 政治・文化・行事
4	自然科学	^{うちゅう} 宇宙・生き物・体のしくみ
5	^{ぎじゅつ} 技術・工業	乗り物・ ^{かんきょう} 環境・料理
6	産業	農業・園芸・ペット
7	^{げいじゅつ} 芸術・スポーツ	音楽・スポーツ・あそび
8	ことば	国語辞典・外国語・作文
9	読み物	読み物・詩・ ^{はいく} 俳句



こんなふうに仲間分けされているので、本をすぐに見つけることができるんだよ。分類が分かれば自分で本を^{さが}探すことだってできるよ！

②インターネットで探す

インターネットで探すのに向いているものは・・・

- (1) 流行っている言葉や人の名前など、辞書や百科事典を引いても出てこない言葉を探すとき
- (2) 調べたいものが何か全然分からないとき



検索するときのポイント

(1) どんなキーワードを使って検索するか考えること

↑ キーワードは短い方がいいよ!

(2) キーワードをどういう順番で入れるか考えること

↑ 順番をいれかえて検索してみよう!

注意!

インターネットの文章は、簡単に書きかえられるので、
インターネットで調べたことは、
自分のまとめには使えません!



③ 博物館や動物園 さが で探す

もっと詳しく知りたいときは、博物館や動物園、水族館などへ行ってみよう！

実物に触れたり、様々な専門書を見たり、

飼育員さんなどの専門家に話を聞くこともできるよ。



よし！情報じょうほうが集まってきたぞ～！

記録カードに記入しよう

調べたことは「記録カード」に記録して、後でもう一度調べたいと思ったときに、どの本を使って調べたか分かるようにしておこう！

調べたことを書いたら、記録カードの下に自分の考えや、思ったことを書きましょう！



じっさい
実際に書いてみよう！

記録カード

課題(テーマ)
調べること
調べてわかったこと
自分の感じたことや ^{かんが} 考えたこと

ポイント①
「調べてわかったこと」を見つけた時に自分がどう思ったか、何か他に気になることはなかったか、どんなことでもいいので少しでも書いておこう。

参考文献	本・雑誌・新聞	① 本のタイトル(書名)		
		② 本を書いた人 <small>ちよしゃめい</small> (著者名)	③ <small>しゅつぱん</small> 出版年	
		④ 本を出している会社 <small>しゅつぱん</small> (出版社)	⑤ <small>せいぎゅう</small> 請求記号	
		⑥ 利用したページ p. ~ p.		
		⑦ 調べた場所(図書館名)		
		インターネット	タイトル・作成者	
			<small>じょうほう</small> <small>かくにん</small> 情報を確認した日	
⑧ URL http://				

ポイント②
「参考文献」とは必要な情報^{ひつよう}がのっていた本や雑誌、新聞のことをいうよ。
「参考文献」については、くわしく次のページで紹介^{しょうかい}するよ！

さんこうぶんけん 参考文献ってなんだろう？

さんこうぶんけん 参考文献とは…

必要な情報じょうほうが載っていた本や新聞・パンフレットのことに！
まとめる時、どの資料で何を調べたか分かるように、図書館に本を返す前に必ず「参考文献さんこうぶんけん」をメモしておこう！

ちよさくけん 「著作権」に気をつけよう！



ちよさくけん 著作権とは…

本や新聞、雑誌ざっし、インターネットに書かれていた文章は、他の人が勝手に使えないように、「著作権ちよさくけん」というもので守られています。他の人が書いた文章をそのまま丸写しして、まるで自分が書いた文章のようにして使うことはできません。
「調べてわかったこと」を書く時には、注意しよう。

4. 記録カードを整理しよう

記録カードを整理すると、自分が何を調べ・考えて今の考えになったのかということがはっきりするよ。また何ができて、何ができていないのかということが分かるよ。

⇒新たな疑問^まがでてきたらもっと調べよう！

整理のポイント



調べたことは「事実」。

自分が考えたことや、思ったこととはちがうので、

一緒にいっしょにしないようにしましょう！

まとめるときも「調べたこと」と「考えたこと」は

分けて書きましょう。

5. 調べたことをまとめよう

いよいよ作品を仕上げていきます。

どういう順番で書いていくか、きちんと考えてからまとめていくのが良い作品を作るコツです！

<まとめ方の例>

⑤タイトル

①はじめに (序論 じょろん)

④目次

②なか (本論 ほんろん)

だい しょう
第1章

だい しょう
第2章

だい しょう
第3章

...

③おわりに (結論 けつろん)

さんこうぶんけん
⑥参考文献リスト

まずは「はじめに（^{じょろん}序論）」を書いてみましょう！

①はじめに（^{じょろん}序論）

テーマと調べた理由を書く。

「どうしてこのテーマを選んだのか」という理由を書こう。なぜ調べてみようと思ったのかな？

ぼくが『木の実』をテーマにした理由は
ぼくは木の実が大好きだから、もっと
木の実に^{くわ}詳しくなりたいと思って
木の実を調べることにしたんだ！



次にまとめの中心になる「本論^{ほんろん}」です。

p.15 の整理のポイントでもあったように、
“考えたこと”ではなく、“事実”を書きましょう

②なか(本論^{ほんろん})

調べる前に予想したことや、
何をどうやって調べていったのかを書こう。
記録カードにまとめた、調べて分かったことも
書いていこう。

予想は p.6 のドーナツチャートで
予想したことを書こう！

ぼくは木の実をたくさん食べる生き物は
リスだと予想したよ！

だけど図書館の本で調べていたら
……と

書いてあったよ。



調べたことが書けたら、つぎは「おわりに（^{けつろん}結論）」です。

③おわりに（^{けつろん}結論）

調べて分かったことについて

自分はどう感じたか、どう思ったかを書こう。

調べる前と調べた後で考えが変わったところも書こう！

調べてわかった時にどんな風に思ったかな？

おどろいたことや「なるほど」と^{なっとく}納得したことがあれば書いてみよう。

「うーん」と^ぎ疑問に感じたなら、ちがう本でも調べてみるといいね。



④目次をつくろう

1つのまとまりごとにタイトルをつけよう！

それが書いてあるページも書いておこう。

⇒このハンドブックの p.2 が目次だよ。参考にしてね！

目次は作品の一番初めに書きましょう！

わたしの作品の目次はこんな感じです！

・目次	… p.1
木の実の ^{れきし} 歴史	… p.3
木の実の種類	… p.9
・まとめ	… p.15
^{さんこうぶんけん} 参考文献リスト	… p.25



⑤タイトルを考えよう

タイトルはとっても大切。自分の考えたテーマが、みんなに伝わるようなタイトルをつけよう！

⑥ ^{さんこうぶんけん}参考文献^かリストを書こう

^{さんこうぶんけん}参考文献リストは調べるときに使った

本の^{じょうほう}情報をリストにしたものだよ。

記録カードに書いたものをそのまま写していけばいいよ！

<書き方の見本>

\\ かならず ^{さつ}3冊以上書こう！ //

No.	本を書いた人	本のタイトル	出版社	出版年	請求記号
1	赤木かん子	お父さんが教える自由研究の書き方	自由国民社	2009	
2					
3					

⋮

これで終わりです！おつかれさま♪

^{おうぼ}応募カード※に記入して、ノリかテープで

しっかりと作品^はに貼って、

学校または図書館に持ってきてくださいね！



※^{おうぼ}応募カードは「調べる学習コンクール」のチラシにあります。

百科事典の使い方

百科事典は、世の中のいろんなことがのっている本です。
調べるのにこま困ったときにはだいかつやく大活躍！

百科事典の中で、これはおもしろそう！という言葉を見つけたら、その言葉をもう一度百科事典で引いてみよう。

①さくいん索引を使おう！

さくいん索引はあいうえお順に言葉がならんでいて、
そこをみればどのことがら事柄が、本のどのページにのっている
かが分かるようになっていきます。ポプラディアなどの
かんすう巻数の多い事典などはさくいん索引だけのかん巻もあるよ。



さくいん索引は事典の後ろのほうにあるよ！

②つめをみよう！

本の背の反対側にある色分けされた部分のことを「つめ」というよ！

1つの色のかたまりで、「あ」のつく名前のももの仲間・「い」のつく名前のももの仲間と分かれていて

^{さが}探しやすくなっているよ。



たとえばポプラディアで“木の実”と引いてみると、

木の実

木になる果実。学術的な用語ではなく、とくに、熟すと赤や黄色などよくめだつ色になる果実や、どんぐりやクルミなど大きくて丸い果実をいう場合が多い。木になっているものでも、かさかさとかわいたような果実は、木の実とよばれないことが多い。

と、5巻の p.37 に書かれていたよ！

泉佐野市「図書館を使った調べる学習コンクール」 作品を作るときのルール

① 作品のサイズとページ数

B4 サイズまでの大きさを1 ページから 50 ページまでの作品

※表紙・目次・資料集・参考の文献ぶんけんいちらん一覧ふくは含みません。

② テーマの内容を調べるときは、必ず公立の図書館または 学校図書室を使ってください。

※泉佐野市立図書館には、「調べたいテーマの内容」を相談できる

スタッフがいます。スタッフに相談すると、調べたいテーマの資料しりょう
が早く見つかるかも！

このワッペンが目印！



③ 調べたときに使った資料名と図書館名を

「参考・引用文献一覧」に記載してください。

※「参考・引用文献一覧」は、必ず作品の巻末かんまつにつけて下さい。

記録カード

課題(テーマ)
調べること
調べて分かったこと
自分の感じたことや考えたこと

参考文献 <small>さんこうぶんけん</small>	本・雑誌・新聞	本のタイトル (書名)	
		本を書いた人 <small>(著者名)</small> <small>ちよしやめい</small>	出版年 <small>しゅつぱん</small>
		本を出している会社 <small>(出版社)</small> <small>しゅつぱん</small>	請求記号 <small>せいきゆう</small>
		調べた場所(図書館名)	
		利用したページ p. ~ p.	
	インターネット	タイトル・作成者	
情報を確認した日 <small>じょうほう</small> <small>かくにん</small>			
URL http://			

さんこうぶんけん
参考文献

『図書館へいこう!3 テーマって…どうやって決めるの?』

赤木かん子/文 すがわらけいこ/絵 ポプラ社 2007

『アクティブラーニング:調べ学習編

テーマの決め方から情報のまとめ方まで』

西岡加奈恵/監修 PHP研究所 2017

『お父さんが教える自由研究の書き方』

赤木かん子/著 自由国民社 2009

『図書館へ行こう! 図書館クイズ 知識と情報の宝庫=
図書館活用術』

山形県鶴岡市立朝陽第一小学校/編 国土社 2007

『総合百科事典ポプラディア 5 第3版 きたくけの』

ポプラ社^{しゃ} 2021

